

# 国際会計研究学会第 27 回研究大会

2010 年 9 月 11 日(土)～12 日(日)

大阪学院大学

□統一論題□

## 「IFRS 導入の基本的課題に関する多面的検討」

ご 挨拶

会員の皆様におかれましては、ますますご清祥のことと大慶に存じ上げます。  
さて、このたび大阪学院大学におきまして、国際会計研究学会第 27 回研究大会を開催させていただくことになり、大変、光栄に存じます。

サブプライムローンに端を発した、2008 年 9 月 15 日の世界金融不況は、さらにギリシャ等欧州各国の財政危機を誘発し、わが国経済にも深刻な影響を及ぼしつつあります。このような経済環境の激変のなか、わが国もいよいよ国際会計基準(IFRS)が特定会社を中心に導入されることになりました。このようななか IFRS の導入を、われわれはいかにとらえ、今後を見据えていかに対処すべきでしょうか。このような国際会計の喫緊の問題を多面的に検討するべく、統一論題のテーマとして「IFRS 導入の基本的課題に関する多面的検討」を設定しました。この方面の研究に深く関わっておられる 6 名の先生方にご報告と、また 4 名の深く精通しておられる先生方に司会・コメンテーターと座長をお願いしました。それぞれの分野から格調高い発表が行われ、活発かつ建設的な討論が展開されるものと思われまます。

研究グループによる中間報告もこのような IFRS 導入に関わるわが国中小企業会計のあり方を究明され、自由論題報告もまた、15 名の先生方によって欧米各国や中国さらにはわが国の多様な会計問題に関する、興味深い研究が報告されます。

準備委員一同、本研究大会を通じてわが国の国際会計研究の発展に貢献できることを願っております。ご多用中とは存じますが、会員の皆様のご参加を心よりお待ちしております。

2010 年 7 月吉日

国際会計研究学会  
第 27 回研究大会準備委員会  
委員長 郡司 健  
副委員長 白井 義雄  
委員 武田 隆一 杉山 晃一 西村 重富  
帯谷 泰輔 田中 延幸  
(協 力) 船本 修三 小倉 康三 後藤 晃範  
(顧 問) 宮本寛爾

## 第 27 回研究大会プログラム

2010年9月11日(土)

学会賞審査委員会	9:50～11:00	5号館 B2-06
理事会	11:00～12:50	5号館 B2-02
参加者受付	12:00～17:45	5号館 B2 フロアー
会員総会	13:00～14:00	5号館 B2-01
統一論題報告	14:20～17:50	5号館 B2-01
懇親会	18:00～20:00	職員食堂

<b>統一論題報告</b> (5号館 B2-01)		(14:200～～17:50)
<b>「IFRS 導入の基本的課題に関する多面的検討」</b>		
司会 徳賀 芳弘氏 (京都大学)		
第1報告 森 美智代氏 (熊本県立大学)		14 : 20～15 : 00
「 I F R S 導入と E U / ドイツ」		
第2報告 藤田 晶子氏 (明治学院大学)		15 : 00～15 : 40
「 I F R S 導入と E U / フランス」		
司会 菊谷 正人氏 (法政大学)		
第3報告 成道 秀雄氏 (成蹊大学)		15 : 40～16 : 20
「 I F R S 導入と法人税法の対応」		
= 休 憩 (10 分) =		
司会 古賀 智敏氏 (同志社大学)		
第4報告 越智 信仁氏 (日本銀行金融研究所)		16 : 30～17 : 10
「 I F R S 導入と公正価値評価への対応」		
第5報告 橋本 尚氏 (青山学院大学)		17 : 10～17 : 50
「 I F R S 導入とわが国の対応」		
<b>懇親会</b> (17号館 1階職員食堂「 <sup>なごみ</sup> 和」)		18 : 00～20 : 00

2010年9月12日(日)

参加者受付	9:00～15:00	5号館 B2 フロアー
自由論題報告	9:30～11:10	
第1報告	9:30～10:00	
= 休憩 (10 分) =		
第2報告	10:10～10:40	
第3報告	10:40～11:10	
[5会場=①5号館 B2-01、②5号館 B2-03、③5号館 B2-04、④5号館 B2-05、⑤5号館 B1-03]		
= 休憩 (10 分) =		
研究グループ報告	11:20～12:20	5号館 B2-01
昼食		
統一論題討論	13:30～15:30	5号館 B2-01

自由論題報告

(9:30~11:10)

<p><b>&lt;第1会場&gt;</b> (5号館 B2-01)</p> <p>司会 大下 勇二氏 (法政大学)</p> <p>第1報告 陸 暁鷗氏 (佐賀大学院生)</p> <p>「中国における企業会計準則の設定主体と設定プロセス」</p>	<p><b>&lt;第2会場&gt;</b> (5号館 B2-03)</p> <p>司会 太田 正博氏 (福岡大学)</p> <p>第1報告 魏 巍氏 (九州産業大学)</p> <p>「会計基準のコンバージェンスが財務報告に対してもたらした影響に関する一考察」</p>	<p><b>&lt;第3会場&gt;</b> (5号館 B2-04)</p> <p>司会 木本 圭一氏 (関西学院大学)</p> <p>第1報告 坂本 孝司氏 (静岡理工科大学)</p> <p>「ドイツにおける『EDV 簿記の正規性』に関する考察」</p>
<p>司会 桜井 久勝氏 (神戸大学)</p> <p>第2報告 小澤 義昭氏 (あらた監査法人・関西大学)</p> <p>「企業結合会計の国際的な統合に関連する我が国の動向と実務上の諸問題」</p> <p>第3報告 吉岡 正道氏(東京理科大学)・徳前 元信氏(福井県立大学)・大野 智弘氏(創価女子短期大学)</p> <p>“Impact on Business Behaviors by Impairment Accounting; Survey Research Studies on Impairment Accounting in 2009” (英語使用)</p>	<p>司会 北村 敬子氏 (中央大学)</p> <p>第2報告 遠藤 秀紀氏 (東海学園大学)</p> <p>「財務諸表表示目的とキャッシュフロー計算書」</p> <p>第3報告 中野 貴之氏 (法政大学)</p> <p>「多角化ディスカウントに関する実証研究」</p>	<p>司会 向 伊知郎氏 (愛知学院大学)</p> <p>第2報告 姜 昌憲氏 (日本大学)</p> <p>「特別目的事業体(SPE)間の関係にもとづくグループ報告エンティティの『支配』概念の検討」</p> <p>第3報告 島永 和幸氏 (神戸学院大学)</p> <p>「自己創設無形資産会計に係る当初の会計処理—IASB 審議提案と AASB 討議資料第 138 号に焦点を当てて」</p>

<p><b>&lt;第4会場&gt;</b> (5号館 B2-05)</p> <p>司会 吉見 宏氏 (北海道大学)</p> <p>第1報告 内藤 周子氏 (目白大学)</p> <p>「サンディランズ報告書における利益表示に関する再検討」</p>	<p><b>&lt;第5会場&gt;</b> (5号館 B1-03)</p> <p>司会 笹倉 淳史氏 (関西大学)</p> <p>第1報告 田中 延幸氏 (大阪学院短期大学)</p> <p>「英国企業結合会計基準の展開とその課題」</p>
<p>司会 柴 健次氏 (関西大学)</p> <p>第2報告 上野 隆也氏 (桃山学院大学)</p> <p>「純財産増加説の現代的意義—IFRS 時代における所得概念の展開」</p> <p>第3報告 野口 教子氏(東京理科大学)</p> <p>「IFRIC13 号におけるポイント交換—企業間における交換」</p>	<p>司会 杉本 徳栄氏 (関西学院大学)</p> <p>第2報告 鷲津 泉氏 (中部大学)</p> <p>「USA および EU の IFRS への対応—日本に与えた影響—」</p> <p>第3報告 滝西 敦子氏 (同志社大学)</p> <p>「米国企業の視点からみた原則主義」</p>

=休憩 (10分) =

<p><b>研究グループ報告</b> (5号館 B2-01) 11:20~12:20</p> <p>司会 田中 建二氏 (明治大学)</p> <p>「各国の中小企業版 IFRS の導入実態と課題」</p> <p>委員長 河崎 照行氏 (甲南大学)</p>
---

昼食 (弁当配布: 会員控室・職員食堂)

<p><b>統一論題 討論</b> (5号館 B2-01) 13:30~15:30</p> <p>座長 野村 健太郎氏 (愛知工業大学)</p> <p>報告者 森 美智代氏 (熊本県立大学) 藤田 晶子氏 (明治学院大学)</p> <p>成道 秀雄氏 (成蹊大学) 越智 信仁氏 (日本銀行金融研究所)</p> <p>橋本 尚氏 (青山学院大学)</p> <p>コメンテーター</p> <p>徳賀 芳弘氏 (京都大学) 菊谷 正人氏 (法政大学)</p> <p>古賀 智敏氏 (同志社大学)</p>
---

### 《参加費・懇親会費のご案内》

本研究大会に参加される方は、同封の郵便振替用紙に所定の事項をご記入の上、**8月23日(月)**までにお振込みください。研究大会・懇親会へのご参加は、お振込みをもって確認させていただきます。(念のため、振込先は：口座番号00990-5-226493「国際会計研究学会27回研究大会準備委員会」です。)

参加費・懇親会費・弁当代の領収書につきましては、「郵便振替払込受領証」をもって代えさせていただきます。

なお、当日は、念のため「郵便振替払込受領証」(またはその写し)をご持参ください。また、振込みいただいた金額につきましては、払戻しをいたしませんのでご了承ください。

●参加費 2,000円 ●懇親会費 5,000円 ●弁当代 1,000円

※9月12日は日曜日のため、近辺にレストラン等が少なく、お弁当の予約・販売を致します(職員食堂・会員控室)。ご希望の方は、弁当代もお振り込み下さい。また、大会会場へのお車でのご来場はご遠慮ください。

### 《CPE単位認定のご案内》

本研究大会に参加される日本公認会計士協会会員の方は、CPEの単位が認定されます。

当日、会場受付で所定の手続をお済ませください。(CPE認定研修承認番号：22-15)

日時・報告等			履修単位
9月11日	14:20~17:50	統一論題報告	3
9月12日	9:30~11:10	自由論題報告(第1~第5会場)	各会場* 2
	11:20~12:20	研究グループ報告	1
	13:30~15:30	統一論題討論	2

\*出席記録はいずれかの会場1回のみ

(研修コード200104)

### 《交通手段・アクセス》

京都から

JR 京都駅——(新快速)——高槻駅——(普通)——岸部駅 (29分)

阪急河原町駅——(快速急行)——茨木市駅——(普通)——正雀駅 (36分)

大阪から

JR 大阪駅——(普通)——岸部駅 (12分)

阪急梅田駅(阪急京都線)——(普通)——正雀駅 (20分)

○ JR 東海道本線「岸部駅」・阪急京都線「正雀駅」ともに本学(大阪方面)までは徒歩5分。

○ 会場=5号館(←2号門)

